

案

資料3

令和元年11月7日

川西市長 越田 謙治郎 様

川西市行財政改革審議会
会長 上村 敏之

令和元年度事業再検証について（中間答申）

本審議会は、令和元年5月10日付の諮問に応じ、今年度分の95事業を検証した結果について、以下のとおり中間答申する。

多くの事業で手法や内容を改善する余地があり、一部の事業では廃止又は休止するべきであるという結論に至った。市長におかれては、特に次の点に留意し、事業の目的や対象者、実施方法などについて、今一度原点に立ち返り、質の高い行政サービスの提供につなげるよう見直しを行われたい。

1. 川西市は厳しい財政状況にあり、将来の世代へ負担を先送りしないためにも、財政健全化が重要な課題である。この状況を改善するために、ふさわしい決断を行うこと。
2. 限られた財源の中で、持続可能なまちづくりを進めるため、事業の優先順位を意識し、見直しを図ること。
3. 各種団体やイベントなどへの補助事業については、全体的な効果検証が必要である。目的や効果を含めた補助金のあり方を抜本的に見直すこと。

課題事業(ディスカッション事業)		検証事業(書面審査事業)	
方向性	事業数	方向性	事業数
廃止/休止	8	廃止/休止	2
一部事業の廃止/休止	16	一部事業の廃止/休止	0
手法、内容の改善	39	手法、内容の改善	46
委託化を含めた改善	12	委託化を含めた改善	0
他事業との統廃合を含めた改善	8	他事業との統廃合を含めた改善	1
現行どおり継続	0	現行どおり継続	1
事業拡充	0	事業拡充	2
受益者負担の適正化	2		

1事業に複数の方向性が示された場合があるため、総事業数と一致しない。